

# 福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成25年10月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、安定した冷温停止を維持しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

## 2号機の燃料移動作業が完了しました

- 当所では、設備の維持管理の簡素化の観点から、原子炉に装荷されている燃料を使用済燃料プールへ移動し、一括管理することとしています。
- 2号機では、9月17日より原子炉から使用済燃料プールへの燃料移動作業を実施しており、10月16日に764体すべての燃料移動が完了しました。
- 作業中は、中央制御室ならびに燃料交換機操作室、燃料交換機上の3カ所にそれぞれ専任の人員を配置し、移動元の燃料や移動先の使用済燃料貯蔵ラックの位置に間違いがないかなどを相互に確認し、連絡を取り合いながら、764体ある燃料集合体を1体ずつ移動しました。
- 今後、東北地方太平洋沖地震等による影響に関する知見の拡充を目的とした原子炉内構造物等の目視点検を、11月中旬頃より開始する予定です。

### ○燃料移動作業の様子



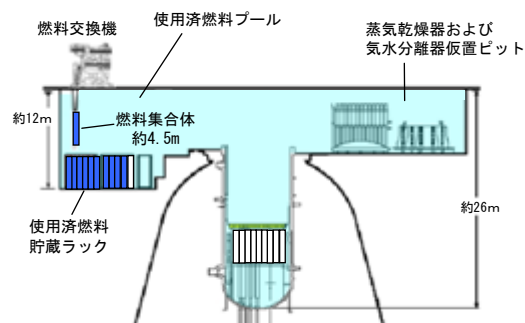
中央制御室  
(平成25年10月16日撮影)



燃料交換機操作室  
(平成25年10月16日撮影)



燃料交換機上  
(平成25年10月16日撮影)



断面図



使用済燃料貯蔵ラックへの収納  
(平成25年10月16日撮影)

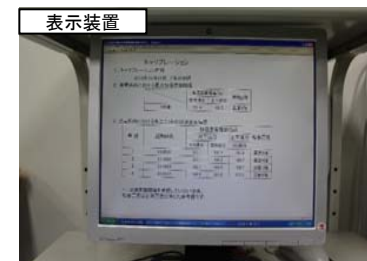
## 地震発生時の対応を紹介します

- 平成25年9月20日（金）午前2時25分頃、福島県浜通りを震源とする最大震度5強の地震が発生し、当所立地町でも震度5弱が観測されました。
- 地震発生時には、地震加速度や震度等の規模に応じて対応をはかることとしており、当日の対応としては、中央制御室で各種放射線モニタの値や原子炉水・使用済燃料プール水の温度・水位に異常のないことを確認しました。
- また、現場へ出向いて、ポンプ・モータ等の機器の運転状況や配管・タンク等の個々の設備を点検し、異常のないことを確認しました。
- 地震発生時のプラント状況、ならびに点検の結果（異常なし）については、国・自治体等へ通報するとともに報道機関へ発表しました。

### ○地震発生からプラント状況発表までの流れ



<各号機に設置>

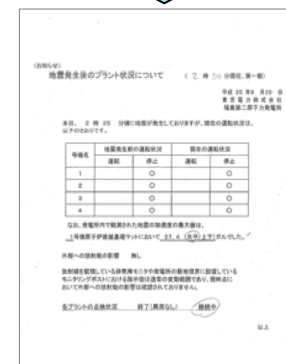


<事務本館等に設置>

観測データ

### <9月20日の時系列>

- 午前2:25頃 地震発生  
 中央制御室での異常の有無確認  
 国・自治体等への通報連絡（第一報）
- 午前2:53 当直員による点検開始
- 午前2:54 保守を担当する所員による点検開始
- 午前3:10 プラント状況について発表（第一報）
- 午前3:15 当直員による点検終了
- 午前5:03 保守を担当する所員による点検終了
- 午前9:08 国・自治体等への通報連絡（第二報）
- 午前9:10 プラント・設備に異常が無かった旨発表（第二報）



<9月20日の発表文>

立地町で震度4以上の地震が観測された際には、地震発生時のプラント状況や地震後にを行った点検結果について、国、自治体等への通報連絡や報道機関への発表ならびに当所ホームページへの掲載を行います。

# 技術力強化訓練の活動紹介

## 「ガレキ撤去チーム」

- 本年7月より実施している、4つのプロジェクトチームによる技術力強化訓練のなかで、今回はガレキ撤去チームの活動内容について紹介します。
- ガレキ撤去チームは、設備を保全する部門のメンバー32名（4班）で構成されており、地震で地割れした道路の復旧や、津波で発生し道路に散乱したガレキの撤去など、プラントを安定させるための緊急作業の通路確保を目的として、以下の項目について実技訓練を行っています。
  - 砂利・砕石積み下ろし運搬・整地
  - ガレキ撤去
  - 鉄板設置・撤去運搬 等
- 有事の際には、プラントの安定化に向けた緊急作業の初期対応を担う重要なチームです。



上の写真は、地面の掘り起こしから、土砂の積み込み、運搬、地面の埋め戻しといった一連の整地作業の訓練を行っている様子です。（平成25年10月8日撮影）

### 技術力強化訓練について

- 当所は、東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、電源盤やモータ等が浸水し使用出来ない状況でしたが、協力企業の皆さまにご協力いただき、復旧にあたった結果、平成23年3月15日までに全プラントを冷温停止することができました。
- 本年7月からは、震災時の経験から得た教訓をもとに、4つのプロジェクトチーム（モータ取替、ケーブル接続、ポンプ復旧、ガレキ撤去）を結成し、機器が壊れた場合でも当社社員単独で対応できる技術力の習得訓練を、計画的に行っています。



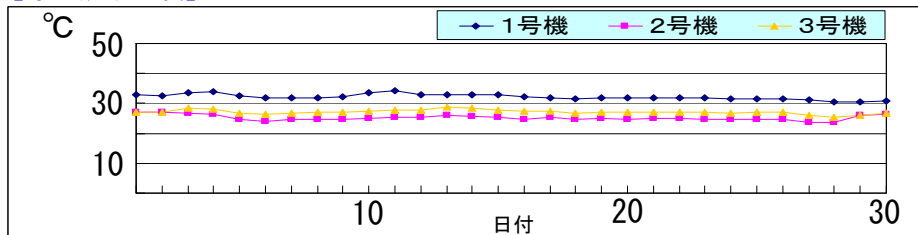
（震災直後の海側通路近辺）

## 【プラントデータ】

### 燃料の冷却状況（9月分）

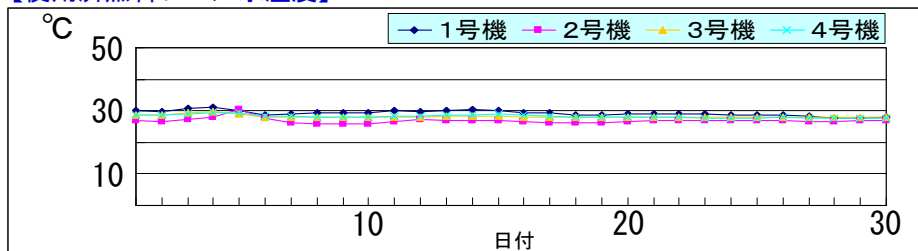
原子炉水および使用済燃料プール水の温度は、約30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。

#### 【原子炉水温度】



4号機は平成24年10月24日までに原子炉内から764体の燃料すべてを取り出し、使用済燃料プールへ移動しました。

#### 【使用済燃料プール水温度】

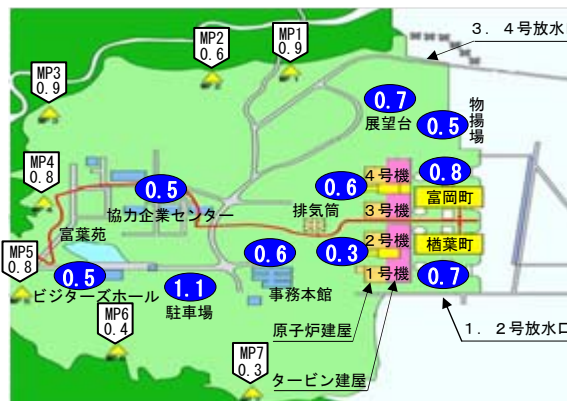


### 発電所敷地周辺および構内の空間放射線量率

発電所敷地境界付近の空間放射線量率（1時間あたりの放射線の量）を連続で測定・監視し、当所に起因する変動がないことを確認しています。

その状況は当社ホームページでもご覧いただけます。

<当社ホームページ><http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html>



□ : 9月30日（午前9時）測定

● : 9月10日～18日測定

単位：マイクロシーベルト毎時

※マイクロシーベルト=ミリシーベルトの1,000分の1



モニタリングポスト (MP)

**福島第二原子力発電所は、引き続き安定した冷温停止を維持してまいります。**